

鞠智城・東京シンポジウム

鞠智城跡

—その歴史的価値を再考する—



鞠智城跡(きくちじょうあと)

熊本県北部(山鹿市・菊池市)に所在する、7世紀後半(約1350年前)に大和朝廷により築かれた古代山城。国の歴史書にも記載のある全国でも有数の重要遺跡として、平成16年2月27日に国史跡に指定されました。平成29年4月には、「続日本100名城」にも選定されました。

日時 平成30年
1月28日(日)
13:00～17:30

場所 明治大学
アカデミーコモン・
アカデミーホール
東京都千代田区神田駿河台1-1

定員 1,100名(要申込・先着順)

基調講演 『古代山城の保存と活用』

文化庁文化財部記念物課主任調査官 佐藤 正知

講演 『列島古代史における鞠智城』

明治大学名誉教授 吉村 武彦

『文化遺産としての鞠智城』

奈良女子大学特任教授 館野 和己

ディスカッション コーディネーター

東京大学大学院人文社会系研究科教授 佐藤 信

申込方法 裏面に記載

主催/熊本県・熊本県教育委員会・明治大学日本古代学研究所
後援/明治大学博物館・明治大学社会連携機構・熊本県文化財保護協会

お問い合わせ/歴史公園鞠智城・温故創生館 〒861-0425 熊本県山鹿市菊鹿町米原443-1 TEL0968-48-3178 (12/25～1/3・月曜日休館)